

■(法印)尊長 僧。承久の乱の黒幕。一家断絶するもしたたかさで後鳥羽院から拔擢され、参謀総長的立場になった。
そんなちよう
源頼政内昇殿1166＝ 藤原北家の末流公卿一条能保の子に生まれる。
清盛太政大臣1167＝ 1歳：

法然浄土宗始1175＝ 9歳：

母は源義朝の娘で頼朝の同母妹だったことから、

源氏一斉蜂起1180＝14歳：この年、源氏蜂起で頼朝が主役に登場すると、

京都と結ぶ要として、父能保の重要性が高まり、

・・・1184＝18歳：
平氏滅亡・・・1185＝19歳： 比叡山での最勝講の聴衆として歴史に登場。平氏が滅亡すると、
九条兼実摂政1186＝20歳： 最勝講の問者を務める。北条時政に代わって、右兵衛督の父能保が鎌倉出先機関の長京都守護にもなる。

・・・1188＝22歳： 後白河院の仙洞御所竣工記念供養で阿闍梨を務め、頼朝が朝廷誘導の政略婚を推進したことから、
奥州藤原滅亡1189＝23歳：
源頼朝上洛・1190＝24歳：この頃、頼朝の推薦で、姉妹の一人が西園寺公経に嫁ぎ、

鎌倉幕府始・1192＝26歳： 鎌倉幕府が正式に発足する頃には、
・・・1193＝27歳：この年、九条良経に嫁いでいた姉妹が道家を出産。
・・・1194＝28歳：この年、西園寺公経にも子実氏が誕生するなど、公武双方のトップに強い係累が築かれて行くが、
東大寺再建完1195＝29歳： その辣腕ぶりを嫌った良経の父摂政九条兼実から父能保に高望みを牽制する申し入れをされ、
以後、修行僧としての下積み生活を続けるうち、
・・・1197＝31歳： 父能保が死去し、続いて嫡男高能も病死して、一条家が断絶、幕府も朝廷への足場を失い、
・・・1198＝32歳： 後鳥羽天皇の土御門天皇への譲位するにおよんで、源通親が実権を掌握したため、父能保に関わる人々が朝廷から一掃されるが、

源頼朝没・・・・1199＝33歳：
梶原景時征討1200＝34歳： 前左大臣藤原兼雅の葬儀に、法眼として登場し、騎馬を率い一人輿に乗って参列して注目され、後鳥羽院に馬を献上するなど、したたかな生き方で、
・・・1202＝36歳： 通親が病死して摂政が九条良経になって、再びきわめて有利な状態となり、
執権政治始・1203＝37歳： 後鳥羽院の専制政治の一員として、山門から仙洞に呼び出される。

モンゴル帝国・1206＝40歳：この年の法然一派弾圧にも深くかわかり、
・・・1208＝42歳： 洛中の邸宅に院の臨幸を迎え、膨大な財宝を扱う法勝寺執行に任じられるほど信任される。
・・・1209＝43歳： 甥の九条道家の娘が入内し、
・・・1210＝44歳： 順徳天皇即位とともに中宮となり、
・・・1211＝45歳： 後鳥羽院の裁定が比叡山の騒動を招いた際、慈円とともに慰撫に努めるなど、比叡山にも目障りな存在に。
方丈記・・・1212＝46歳： 法印に昇進。趣味の駿牛のうちの最高の一頭を御し、葉室光親の牛車を抜こうとして事故を起す。
北条霸権確立1213＝47歳： 南都北嶺の対立の調停に乗り出すも恨みを買う。

・・・1217＝51歳： 順徳天皇中宮安産祈願で阿闍梨を務めるなど、高僧としての地位も確立し、
・・・1218＝52歳： 第一皇子誕生で、順徳天皇とも直結。さらに九条道家には後に公家将軍となる頼経が誕生する。

愚管抄・・・1220＝54歳： 院の討幕計画本格化のため、出羽羽黒山の総長吏に任じられ、
承久の乱・・・1221＝55歳： 遂に承久の乱となり、緒戦は良いもの形勢逆転すると、両上皇ほかが尊長宅で軍議するも、比叡山僧兵を動員することができず、敗色が決定的になったため、逃亡してしまう。

大和国十津川の住人の婿となって、幕府の目を逃れながら、壮大な再起計画を練っていたが、
北条政子没・1225＝59歳：

道元曹洞宗始1227＝61歳： 密告され、再び姿をくらますが、京都内に潜伏するうち親しくなった和田朝盛(義盛の孫)に気を許したため、幕府から追捕され、自刃に失敗後、殺害された。